

主のみ名を賛美します。

長老会が8月に行った「自宅礼拝のお願い」には、「明確な指示が見えず、戸惑った」というご指摘がありました。「この状況では自宅礼拝もやむを得ない」と受け取った方がおられた一方、「感染予防対策をすれば礼拝も大丈夫ではないか」と考えた方もおりました。

「自宅礼拝のお願い」の主旨は、一律に自宅礼拝をお願いするものではなく、教会員がご自身と身の回りの事情を踏まえた上でなされる判断を尊重しようということでした。それは、教会、自宅いずれの礼拝も各自が主への信仰による判断として行ってください、と信じてのお願いでした。

一方でこの間、長老会は、自宅礼拝が長期化したことで礼拝をとおして与えられる主の恵みと祝福が得られない、と不安を感じる方がおられることを伺っていました。

9月12日の長老会は、これらのことを踏まえた上で今後の対応を検討しました。長老会が先ず確認したことは、皆さんが共に教会に集い、声をそろえて主を賛美し、み言葉に養われたいとの願いは切実であり、これが皆さんの声である、ということでした。その願いをいかに実現するか、重視したことは、礼拝に招かれた一人一人が安全に礼拝できる、ということです。

教会は現在、代務体制にあり、静岡教会をはじめ分区の諸先生方には、私たちの思いを超えたご奉仕をいただいています。ですからここは私たち教会員の工夫によって、皆さんが教会で礼拝を守れるような解決の道を探りたいと考えました。

以上のことから長老会は、**9月19日の主日礼拝から、感染予防を十分に教会に集まっていた**だき、**密を避けて礼拝を守る**ことを原則とする決定をしました。その上で、緊急事態宣言が延長されたことを考慮して、次の6つの基準を考えました。これを、礼拝に出席するか自宅礼拝を守るかの判断をなされる時の一つの目安としてお考えください。

- 1 **多くの方が礼拝に出席できるように、可能な方はぜひ夕拝への出席をご検討ください。**諸事情で朝の礼拝しか選べない兄弟姉妹のために、ご検討をお願いします。
- 2 **基礎疾患**をお持ちの方、同居家族を**介護中、看護中**の方は無理をしないで下さい。
- 3 医療関係や介護関係などのように**感染予防に留意**することが求められる職場や、**感染の危険性**が比較的高い職場にお勤めの方は、慎重な判断をお願いします。同居のご家族の中に、**県境を越えて通学、通勤**している方がおいでの場合も、同様の判断をお願いします。
- 4 **公共交通機関**（バス、電車、タクシー）を使って教会に来られる方は、マスク等の感染予防をして、車内での接触感染に留意しておいでください。
- 5 **自家用車**の方、**徒歩、自転車**の方も、十分な感染予防をなさっておいでください。
- 6 自宅礼拝を決断なさった場合の献金は、教会の礼拝に出席できるようになった時にお届けいただくか、組会の長老、親しい方などに託していただけたらよいと思います。

なお、礼拝堂の座席は感染予防の観点からこれまでより10席減らして44名、小礼拝堂とロビーに14.5名、これを越した場合は2階での参加をお願いします。受付で案内をします。

どうぞ、主日礼拝へ出席される方も自宅で礼拝を守る方も、別の場所で礼拝を捧げる互いのために、引き続きお祈りください。困難な折であればこそ、信仰による一致がかえって固くされ、離れていても一つの主の民とされていることを確認し合える群れとされることを願って、この時を過ごしてまいりましょう。